歯科 CAD/CAM 冠（キャドキャムかん）とは、コンピューターを使って設計・製作される保険適用が可能な白い被せ物（クラウン）のことです。従来の金属（銀歯）に代わるメタルフリーの選択肢として、近年非常に広く普及しています。
プラスチック（レジン）にセラミックの粉末を混ぜ合わせた「ハイブリッドレジン」というブロックを、機械で自動的に削り出して製作します。

💡 主なメリットとデメリット

項目	メリット	デメリット
見た目	**保険診療でも白い歯にできる**ため、銀歯に比べて格段に目立ちにくい。	自由診療のセラミックに比べると**透明感が劣り、色調が単調**になりやすい。
身体への影響	金属を一切使わないため、**金属アレルギーの心配がない**。	経年劣化によってプラスチックが吸水し、**徐々に変色や着色（黄ばみ）が起こる**。
歯への優しさ	天然の歯に近い硬さなので、**噛み合う対合歯を傷つけにくい**。	金属や純セラミックに比べて強度が劣るため、**摩耗したり割れたりするリスク**がある。
費用	自由診療のオールセラミック等に比べ、**大幅に費用を抑えられる**。	保険適用の銀歯と比べると、窓口での負担額は少し高くなる。

🛠️ 保険適用のルール（2026 年最新状況）
歯科医療における診療報酬改定にともない、保険の適用範囲は年々拡大しています。

【適応できる歯】

- **すべての永久歯（前歯・小臼歯・大臼歯）**が対象です。
- 以前は大臼歯（奥歯）への使用に厳しい噛み合わせの条件（咬合支持要件）がありましたが、**要件の緩和・撤廃が進み**、より多くの奥歯に選択できるようになっています。
- 後続の永久歯がない乳歯にも適応可能です。

【注意点】

- 歯ぎしりや食いしばりの癖が極めて強い場合は、割れるリスクが高いため歯科医師の判断で適用できないケースもあります。
- 歯科医院側が厚生労働局（地方厚生局）への届出・申請を行っている必要があります（現在ほとんどの一般歯科で対応可能です）。
- 窓口負担：**約 5,000 円 ～ 7,000 円 前後**（1 本あたり）
  ※技術料や再診料、その他の処置によって多少前後します。